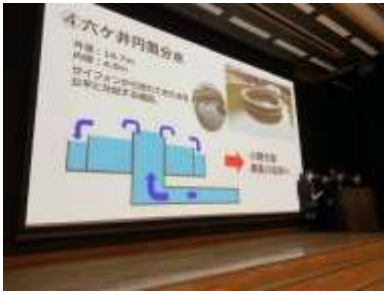


1月24日は75回生生活科学科課題研究発表会が兵庫県立教育研修所講堂で開催されました。ご家族の皆様には松花堂



弁当を食べていただくところからタイムテーブルが始まっており、私も左の写真にあるお弁当をいただきました。とても手の込んだ内容で、おいしくいただきました。また、発表会後に配られるケーキも手紙付でいただきました(右写真)。開会の挨拶で、いろいろな制約を受ける中でも工夫して実習を続けてきたことで、「密な」高校生活を送ることができたのではないかと、とても良い表情になって成長を感じられたことが嬉しかった旨を話させていただきました。プログラムに従って各班のプレゼンが始まりました。最初は、21日にも発表があった食ビ



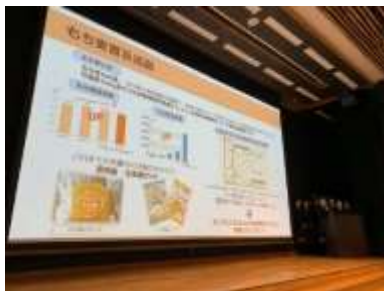
ジネス班の「チャレンジショップで地域をつなぐ～地域の財産東条川疏水～」で、水の恵みと先人の知恵のお陰で山田錦が育つ環境になったことや商品開発の発表でした。2番目は「保育園食育～一人ひとりに寄り添う食提案～」で保育園の給食献立についてアレルギー材料を排除する工夫についての説明でよく研究された後がうかがえました。3番目は「寮生のお弁当考案～スポーツ選手にとって栄養とは～」というテーマで体育科寮生と共に取り組んだ昼食と栄養学習についての発表でした。本校ならではの発表です。4



番目は「社高校生活科学科×JAみのり・高級牛丼の商品開発プロジェクト」で、市販されているレトルト牛丼調査に始まり、商品開発までの過程を説明。5番目は「学校給食研究事業・SDG's 給食～食べ残しを減らそう～」で加東市給食センターと連携した献立作りを企画し、実際に提供され、残食やアンケートまでを行った発表でした。6



番目は保育班の『劇「おおきなかぶ」』です。役になりきってわかりやすい言葉で強調して演じるこ



この難しさを知ることができたのではないのでしょうか。最後は、21日にも発表した地方創生班の「7人でつくる加東市の未来」の発表です。調査に基づき、先輩の研究を引き継ぎ内容を発展させているのには毎年、目を見張るものがありますが、生徒たちの顔がどんどん自信に満ちあふれてい

く様子をとても嬉しく感じました。そして、棚倉学級委員長挨拶です。先生方、ご家族への感謝の言葉であふれていました。最後は担任の富澤先生のとても温かい言葉で締めくくられました。9割を超える出席をいただいたご家族の皆様もとても良い表情で会場を後にされており、課題研究発表会は大成功でした。3年生の皆さんお疲れ様でした。そして、入学以来、新型コロナの影響で実習面では今までと同じ形ではできないところからスタートし、それでも経験を積ませようと工夫された先生方、ありがとうございました。1・2年生の皆さんは3年生の思いを引き継ぎさらに研究を発展させ、地域貢献を果たすべく課題に向かって行ってください。よろしくお祈りします。

1月も残すところ1週間。1年で一番寒い時期になりました。登下校時に事故等にあわないよう安全に気をつけてください。また体調管理にも気を配り、次のステージに向かう準備を進めていきましょう。